

# 荒木山通信

天神様と私  
—菅原道眞公—

戸村彰孝



【宮地の天神社（石段とお宮）】

2025年12月  
第25号  
北房文化遺産  
保存会

（文責）畦田正博

今年も受験シーズンがやつて來た。中高大と幾十万人が合格を祈願して天神様に殺到するだろう。

備中川の流域で最も有名なのは落合垂水の箸立天満宮であろう。私の友人の築沢君が先代の宮司をつとめられておられた。北房地域では菅野の天神さま、井尾の天神さま、金比羅さまの内宮、などが知られているが、最も大きな天神様は柴床さんを宮司とする宮地の天神社だと思う。※

私は昭和九年（一九三四）宮地の西福寺で生まれたので、同じ宮地の天満にある。天満のこんもりとした森に長く続く石段があり、頂上にお宮の境内があ

たのである。



【箸立天神伊吹ヒバ】

※ 宮司が昨年から柴床氏から有漢の中山氏に代わっている。



【落合高校の校章】

（保存会員の名）



【定古墳進入路】  
枝切り作業

つて來た。中高大と幾十万人が合格を祈願して天神様に殺到するだろう。

つた。二才上の鈴木の延やんを案内役として、江川の道ちやん・金丸の敏ちやん・傘屋のカアちゃんなどと遊んだ。その頃、祭神が平安時代に実在した道眞公とは知る由もなかつた。

父上の公務に従つて高田（今宮に隣接する落合高校）に入学した。道眞公十四才の頃、箸立天満宮の場所で食後に箸を立てて去つた跡に生えたのが、県の天然記念物に登録されている樹齢千年の

9月28日（日）  
（実行委サービス班）  
荒木山古墳の草刈りや墳頂部の枯れ枝の片付け。一定古墳群への通路の上に覆い被さっていた木の枝の伐採や大谷一号墳の墳丘部の草刈り作業。

が飾られたのだ。横壁には、天皇から賜つた恩賜の御衣をしみじみと眺める人の姿が掛け軸が掛けあつた。その繪の上部には詩か歌が書かれていたが、「恩賜の御衣今ここにあり……」

という漢詩であったのか、今となつては確かめる術もない。生まれて間もない弟を背負つていた母は、「天神さまは偉い学問の神様ですよ」と教えてくれた。——天神さまとの初対面であつた。

長じて十年後、箸立天満宮に隣接する落合高校に入学した。道眞公十四才の頃、父上の公務に従つて高田（今

の勝山）へ行く途上、昼食をとつた場所が今の垂水の

梅が詠み込められていた。女学校で天満宮に隣接していた。その故もあつてか、校章は京都の北野天満宮と同じ梅の紋章、校歌には白梅が詠み込められていた。白梅はゆかしき花よ

ふくいくとほのかに匂うふくいくと白梅のごとわが心すがしくあらむわが操凜々しくあらむ

清純・高潔な人材を育てようという教育理念のにじみ出た秀歌であると思う。因みに、天満宮の白梅の様子を聞いてみた。北野天満宮には五〇種一五〇〇本（白四〇%、紅六〇%）、太宰府天満宮には一九〇種六〇〇〇本（紅白五〇%）の梅林の姿だつた。三大名園の後楽園では約一〇〇〇本（白六〇%、紅四〇%）だと

「伊吹ヒバ」だと伝承されている。

落合高校は、前身が高等女学校で天満宮に隣接していた。その故もあつてか、

8月以降の  
■案内看板の設置  
保存会の活動から

8月26日（火）

荒木山古墳の南側登坂道の入口や坂道の途中の案内看板を新しくしました。

地図や注意など分かりやすく表したアルミ板です。



【看板取付作業】

10月26日（日）

## 第2回ガイド養成講座 定東塚・西塚古墳について現地研修。

講師は奥田・網本会員。M I

Tの取材もありました。  
参加一五名。



【きれいになった  
大谷3号墳】



【東塚古墳の石室での説明】



【古墳探訪のポイント等を説明】

## 「萬葉集」から見た古代（五）

### 一 農民 一

### 三輪 能章

前号では、山上憶良の歌から、農民の窮状をみました。山上憶良がこの歌を詠んだのは筑前守在任の七三〇年前後です。

では、それまでの経過をみてみます。

紀元前四～三世紀に稻作が伝来してから、生活様式は定住型社会へ移行しました。そのことは安定した食料供給が可能になり、同族

村落共同体の形成を進め、「ムラ」という氏部族社会

やがて紀元一世紀前後に

は余剰生産物「富」を管理し分配する「広域共同体」

が「クニ」の基本として発達します。氏部族社会から

首長社会への転換です。

弥生時代後期二～三世紀に租税制度のもとがあります。中国の

歴史書「魏志倭人伝」に、倭国「邪馬台国、卑弥呼」の時に、「租賦を收む。邸

賦役の徵収が行われていて

「賦」は労役で、「邸閣」は米などの食糧を貯蔵する建物です。そして、交易による国々の繋がりがあつたことが分かります。三世紀中頃の邪馬台国は、この繋がりの中で約三〇の小国を從える地方の連合国家となり、

「租」は収穫物（穀物等）

「賦」は労役で、「邸閣」は米などの食糧を貯蔵する建

物です。そして、交易によ

る国々の繋がりがあつたこ

とが分かります。三世紀中頃の邪馬台国は、この繋がりの中で約三〇の小国を從

れる地方の連合国家となり、

卑弥呼が女王として君臨していました。

その後、四世紀～六世紀には、それらの各地方連合

をさらに広域拡大して王権

をさらに広域拡大して王権

をさらに広域拡大して王権

をさらに広域拡大して王権

をさらに広域拡大して王権

・国造（くにのみやつこ）が支配していました。やがて七世紀、ヤマト王権は「乙巳の変」の「改新の詔」により連合国家から、天皇中心の大和朝廷による中央集権国家へ転換を進めています。天武朝は五畿七道という、広域地方行政区画を設定し整備します。

「賦」は労役で、「邸閣」は米などの食糧を貯蔵する建物です。そして、「賦」は「守（かみ）」などし、各国に「評（二おり）」を設けて地方の勢力を弱体化しています。大和朝廷は政治的支配権力をもつ「大和朝廷政権」へと、さらに様々な政策を行っています。これらは、整備とともに、大和朝廷は政治的支配権力を弱体化しています。

区画内の旧来の「国」を分割（六八九年、吉備国を備前・備中・備後に、七一年、備前から美作を分国など）し、各国に「評（二おり）」を設けて地方の勢力を弱体化しています。

区画内の旧来の「国」を分割（六八九年、吉備国を備前・備中・備後に、七一年、備前から美作を分国など）し、各国に「評（二

年、備前から美作を分国など）し、各国に「評（二

これらは、中央集権制度確立のため必要であり、特に「大宝律令」（七一〇年）は基礎法整備の重要な法令でした。

旧来からの国によつて異なる「租」「賦」を、「律令」の中に「税制度」として法化し施行します。「律令」「戸令」「田令」「賦役令」「職員令」などの「令」は、農民に直接かかわる基本法です。

そして、「国」に「司（つかさ）」または「守（かみ）」が中央から派遣されました。

「郡（以前の評）」には、最

初「郡司」として旧国造の子孫（在地豪族）が任命さ

れ多くは世襲で終身官でした

が、その後中央から任命

を派遣されます。「里長」は里を管轄しますが、「郡司」

の下で雑用を行う地元の長老が里（村）役であり権限

は少なかつたようです。

制度に必要な戸籍は六七〇年に、より詳細な情報

を含む庚寅年籍を作成し、これをもとに五畿内の口分

を算出する「大宝律令」「養老律令」と、七世紀中頃から八世紀中頃にかけて「令」と「律令」を出

してきました。



## 鉄鉱石を探して

鬼ノ城たら爛漫部

西江清吾（倉敷市）

一九九九年、総社市教育委員会発掘調査の千引力ナ  
クロ谷製鉄遺跡（以下「千  
引」）は、製鉄炉四基、炭窯  
二基が発見され、年代は六  
世紀後葉といい、日本最古  
の発見として騒がれました。  
地元では有志が集い（鬼  
ノ城たら俱楽部発足）、  
製鉄遺跡の再現・研究を続  
けています。もう二〇数年

になりますが、主に砂鉄を原料に、秋には年一回のたたら操業（砂鉄を溶かして鉛をつくる）し、鉛から鉄製品（刀物）の鍛冶（鍛錬）作業を楽しんでいます。今のは課題は、鉄鉱石から鉛をつくること。なぜなら発掘された「千引」では鉄鉱石（磁鐵鉱）の破片も発見されているのです。長年鉄鉱石を探してきましたが、なかなか良質な鉄鉱石（鉄分含有量三〇～五〇%目標）が見つかっていません。以下は、鉄鉱石を探しながら見聞きしたことです。

て阿口神社にもお参りしました。地元の「杉さくらの杜育てて観る会」相原さんにお会いして、荷卸しという地名に建つログハウスで各種鉄津（ノロ）を見せていただき、小冊子「阿口の遺産」の説明を聞かせていただきました。何と、製鉄・鍛治・作刀に関わる一大集落があつた事を彷彿させるお話をしました。次に北房図書館で「北房町史 通史編上」（平成四年（一九九二）、以下「通史」）に出会い、日本刀「国重」をはじめとする、備州作刀集団等の歴

だことでしよう。いずれにしても時代の先進的な製鉄・作刀産業により多くの人々で栄えたことでしょう。小生なりに俯瞰してみると、六世紀後葉に「千引」で製鉄技術が日本へ上陸した（朝鮮で三国時代が終わる頃、戦乱を逃れた製鉄・作刀集団を吉備の有力者がスカウトして初めて吉備に上に技術を伝えた）。そして大化の革新（六四五）前後頃から、豪族を中心とした縦の中央集権体制へと進む途上でのできごととして地方豪

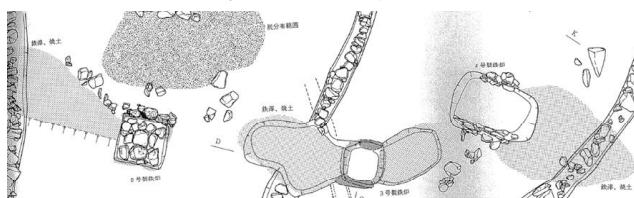
- ◆ 製鉄遺跡の測量図は、「奥坂遺跡群発掘調査報告書（一九九九年・総社市教育委員会編）」より
- ※ 鉄てい..鉄を運びやすく板状にしたもの
- ◆ 「国重」の機会にしましようか！

## ふるさと紹介



【廿二鐘乳穴神社】

### 〔千引力ナクロ谷製鉄遺跡 1号炉〕(25cm等高線)



## 【千引力ナクロ谷製鉄遺跡2・3・4号炉 配置図】

数ヶ月前から知り合いに案内されて、鉄鉱石はないだろうかと、井原市美星町荏原方面、真庭市北房地域を訪ねて歩きました。中でも北房地域では、北房IC入口の「国重為家の郷」刀のモニュメントから、阿口にたどり着い

阿口の鉄では歴史的に二度栄えた時期があつたのではありませんか。 浅学ですが、最初は後期古墳時代の有力者の保護で「千引」から伝播して、郡衙があるらしいし、農具・武具等で栄えた時期があつたのでしょうか。 次は、室町・戦国時代の武器需要に応えた作刀集団の繁栄期でしょうか。 戦のない江戸期以降は名刀づくりに勤しん

鉄・鍛冶集団が一〇〇年ぐらいの間に瞬く間に全国へその技術が伝播していく。と思われます。交易で入手する高値の鉄で、たらで生産する安価な鉄を入手できたことになります。その頃県内に伝播していった製鉄遺跡をネットでみると、六世紀から七世紀<sup>ころ</sup>かけて赤磐市旧熊山町の猿喰池<sup>はみけいけ</sup>製鉄遺跡、笠岡市東大戸の鉄塊遺跡、津山市旧久米町の大蔵池南製鉄遺跡の発掘調査記録では、「千引

# 井戸鐘乳穴神社

の当屋祭は、「北房町史民族編」（昭和五八年発行）や「岡山の祭りと行事」下（山陽新聞社・昭和五八年発行）にも取り上げられている。この度、祭を実見し、関係の方への聞き取り調査をする機会があり、紹介したいと思う。

祭りの担い手は、ツヨリクジで選ばれた当屋と清淨人である。清淨人は、祭りの際神に接する神聖な役で、もとは少年であったが現在は大人の場合が多い。大祭は十一月三日で、それまでに酒部屋かけ・餅つき・注連ない・水神まいりが行われる。（かつては三日であったが、現在では二日で）

大祭当日の朝、オハケおろしが行われる。敷いたムシロで、宮司が祝詞をあげる。その後、神社拝殿での神事が行われる。おりゑ・供田物舞い（福の種まき）・火の祭り・稻の祭り・直会が行われる。昼頃には終わるようになつた。

どの祭りや行事でもあるが、少子化や過疎化の波で氏子（特に若い世代）が減少したり、社会情勢等の変化で存続が難しくなつてきておりが行なわれる。当屋祭も餅つきや注連縄などを外部委託するなど、できるところは簡略化し、時間の短縮も図るなどして、時間に合うよう工夫している。基本は大事にしながらも負担を少なくしたりして、伝統と歴史のあるこの祭の存続を図っているとのことである。

神輿が帰つてから夕方から夜にかけて当屋での神事が行われていた。今は神社での神事に引き続いて、オハケあげ・酒部屋祭り・おりゑ・供田物舞い（福の種まき）・火の祭り・稻の祭り・直会が行われる。昼頃には終わるようになつた。



【オハケあげ】

（向こうに酒部屋が見える）



【火の祭り】

「供田物舞い（福の種まき）」  
床の間に供えてある餅など

を清淨人が客人にまく。

「火の祭り」清めた灰の中

丸餅を埋め、その中に青木の葉を敷き並べ宮司が「渡らよ、渡らよ、川の西方を

ろよ、渡らよ、古墳時代の水島といえども負担を少なくしたりして、伝統と歴史のあるこの祭の存続を図っているとのことである。

（その後、神輿が出で、開帳のかつては午後三時過ぎに

間の縁側の外に茅で囲まれた中に棚を設けたもの。式内十八社の十八重の鏡餅が供えている。



【酒部屋（内側）】

渡ろよ」と唱えながら渡る。かつては囲炉裏であつたが、今は火鉢である。《火の災いを避ける》  
ムシロの上に「尻たて」という一束の藁を立て、それが押し倒す。《五穀豊穣》



【尻たてに五穀を注ぐ】



【押し倒された清淨人】

に五穀をそそぐ。その尻たてを背負つた清淨人を宮司が押し倒す。《五穀豊穣》を願う》  
(畠田正博)

※ 豊田宮司・井殿の森岡氏には大変お世話になりました。

倉敷市水島といえども、現代では工業都市のイメージが強い。しかし、水島から児島にかけての山地には、実は後期古墳が数多く分布している。もちろん、古墳は干拓地には存在しない。古墳が築かれたのは、過去に島だつた山の上であり、現在までに約五〇基が確認されている。そこで疑問を探るヒントは、農耕に向かないこの地域になぜ多くの古墳が築かれたのだろうか。

この疑問を探るヒントは、海を渡つた香川県の喜兵衛島にある。喜兵衛島は非常に小さな島だが、何と一八基もの古墳が確認されている。ここにも水島と同じく

農耕ができる平地はほとんどない。その理由を解く鍵になつたのが、古墳のすぐそばで



【茂浦1号墳】

見つかった「製塩炉」である。つまり、喜兵衛島の古墳は、塩作りを行っていた人々の墓だつたと考えられるのだ。

では、水島はどうだらうか。実は、水島周辺の古墳の麓には、必ずと言つていほどの製塩遺跡があるのだ。例えば、福田地区には七基からなる湾戸古墳群があるが、これらの見下ろす先には湾戸遺跡という製塩遺跡がある。連島地区には茂浦古墳群や辻堂古墳など多数の古墳が分布するが、麓にはやはり製塩遺跡の大江遺跡がある。また、これらの遺跡を埋蔵文化財分布図で見比べてみると、面白いほどきれいに対応することに気づく。

これらの事実から、水島の古墳は、塩の生産に関わる

では、水島はどうだらうか。実は、水島周辺の古墳の麓には、必ずと言つていほどの製塩遺跡があるのだ。例えば、福田地区には七基からなる湾戸古墳群があるが、これらの見下ろす先には湾戸遺跡という製塩遺跡がある。連島地区には茂浦古墳群や辻堂古墳など多数の古墳が分布するが、麓にはやはり製塩遺跡の大江遺跡がある。また、これらの遺跡を埋蔵文化財分布図で見比べてみると、面白いほどきれいに対応することに気づく。

これらの事実から、水島の古墳は、塩の生産に関わる



【茂浦6号墳】



【辻堂古墳】

見つかった「製塩炉」である。つまり、喜兵衛島の古墳は、塩作りを行っていた人々の墓だつたと考えられるのだ。

では、水島はどうだらうか。実は、水島周辺の古墳の麓には、必ずと言つていほどの製塩遺跡があるのだ。例えば、福田地区には七基からなる湾戸古墳群があるが、これらの見下ろす先には湾戸遺跡という製塩遺跡がある。連島地区には茂浦古墳群や辻堂古墳など多数の古墳が分布するが、麓にはやはり製塩遺跡の大江遺跡がある。また、これらの遺跡を埋蔵文化財分布図で見比べてみると、面白いほどきれいに対応することに気づく。

これらの事実から、水島の古墳は、塩の生産に関わる

つた集団の墓だつたのではなかいか」という説が強くなる。塩作りに関わつた集団の首長の墓がこれらの古墳なのであろう。

しかし、ここである疑問が浮かぶ。水島に住む人々は何を食べ、どうやつて生は活していたのだろうか。もちろん、人間が塩だけで生活することは不可能だ。食料となる農産物が必要だし、塩を他の物資と交換するためには物流を仲介する存在も必要だ。そこで浮かび上がるのが、「児島の屯倉」の存在である。屯倉とは、大和朝廷が地方を直接支配するための役所で、児島の屯倉は五五年に設置された。この時期はまさに水島で古墳が増える古墳時代後期と一致している。さらにこの屯倉は強い権力を持つた。この時期はまさに水島

つた集団の墓だつたのではなかいか」という説が強くなる。塩作りに関わつた集団の首長の墓がこれらの古墳なのであろう。

しかし、ここである疑問が浮かぶ。水島に住む人々は何を食べ、どうやつて生は活していたのだろうか。もちろん、人間が塩だけで生活することは不可能だ。食料となる農産物が必要だし、塩を他の物資と交換するためには物流を仲介する存在も必要だ。そこで浮かび上がるのが、「児島の屯倉」の存在である。屯倉とは、大和朝廷が地方を直接支配するための役所で、児島の屯倉は五五年に設置された。この時期はまさに水島



山守部小廣 二人調塩二斗」。備前から塩が納められた、と。

つまり、児島の屯倉を中心に塩生産が組織化され、その従事者の墓が水島や児島に築かれた古墳だつたと考えられるのである。

このように考えると、後期古墳時代の水島地域は、吉備の伝統的な勢力ではなく、大和王権の直接的な影響下にあつたことが分かる。

北房地域とは別に、水島にも大和の力が及んでいたとみられる。水島の古墳は、その背後に広がる大和王権の影響力を今に伝えていくのかもしれない。ちなみに平城京からはこんな木簡が発見されている。「備前国児島郡三家郷牛守部小成



【茂浦古墳群から水島を望む】かつて海だった所は干拓され、住宅と工場が立ち並ぶ

白雲夢幻  
大和路はるか

よく晴れた午後  
山はいよいよ高く聳え  
頂上の木は空へと尖り  
白い雲を纏つて  
私は山を登り詰め  
大木によじ登つて  
白い雲に潜り込んだ  
「やれ〜」大きな安心  
に満たされた  
暫くして白い雲が大木を  
離れ大空をゆっくりと  
流れに行く

私は喜びに包まれ  
過去の記憶をすっかり  
無くしていた  
さて、白い雲は次第に  
溶け始め 大空の中へ  
消えつつあつた  
白い雲に同化した私も  
また溶けていく  
「夢は突然覚めた」  
なんと好ましいこの世との  
決別であろうか

令和8年度 北房文化遺産保存会 総会	
○日時	一月一八日(日) 午前一〇時半～
○場所	北房文化センター (二階)研修室 (昼食後)
○講演	「岡山県北の考古資料 からさぐる渡来人」
・演題	・講師 美咲町生涯学習課学芸員 (元大阪文化財研究所総括研究員) 田中清美先生 (田中先生は、荒木山西塚発掘現場 にお見えになつたこともあります)

入会のすすめ

※ 令和8年度の会員を募集しています。申込用紙は、北房文化センターに置いています。